

THE NEW VALUE FRONTIER



第64期中間報告書

平成29年4月1日から平成29年9月30日まで

証券コード 6971

京セラ株式会社

社 是

敬天愛人

〈敬天愛人〉

常に公明正大 謙虚な心で 仕事にあたり
天を敬い 人を愛し 仕事を愛し 会社を愛し 国を愛する心

経営理念

全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、
人類、社会の進歩発展に貢献すること。

経営思想

社会との共生。世界との共生。自然との共生。
共に生きる (LIVING TOGETHER) ことをすべての
企業活動の基本に置き、豊かな調和をめざす。



名誉会長

稻盛和夫

心をベースに経営する

京セラは、資金も信用も実績もない小さな町工場から出発しました。頼れるものは、なけなしの技術と信じあえる仲間だけでした。会社の発展のために一人ひとりが精一杯努力する、経営者も命をかけてみんなの信頼にこたえる、働く仲間のそのような心信じ、私利私欲のためではない、社員みんなが本当にこの会社で働いてよかったと思う、すばらしい会社でありたいと考えてやってきたのが京セラの経営です。

人の心はうつろいやすく変わりやすいものといわれますが、また同時にこれほど強固なものもないのです。その強い心のつながりをベースにしてきた経営、ここに京セラの原点があります。



代表取締役会長

山口 悟郎

代表取締役社長

谷本 秀夫

平素は京セラグループに対しまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。平成29年9月30日をもちまして終了しました第64期中間期(当中間期)の業績及び事業内容につきましてご報告いたしますので、ご高覧いただきますようお願い申しあげます。

当中間期の業績は、好調な部品需要に対応するため、生産能力の拡充を図り、売上拡大に努めたことに加え、新製品投入や積極的な拡販活動を実施したことにより、売上は過去最高を更新し、利益についても増収及び原価低減により、前年中間期に比べ大幅に増加しました。下半期も引き続き、重点市場での事業拡大及び経営基盤の強化を図り、業績拡大に努めてまいります。

なお、当中間期の配当金については、前年中間期から10円増配となる、1株当たり60円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、京セラグループに対して引き続き一層のご支援、ご高配を賜りますようお願い申しあげます。



社内外との連携強化を進め 第67期 売上高2兆円の達成を目指す

Q 社長就任後、どのような取り組みを進められていますか

A 「既存事業の拡大」と「新規事業の創出」に取り組んでいます

まずは徹底した原価低減による「既存事業の拡大」に取り組んでいます。シェアを伸ばすには価格競争力の強化が必要と考え、プロセス改革による原価低減に努めています。また、製造部門だけでなく間接部門においてもAIやロボット等を積極的に活用し、生産性の倍増に取り組んでいます。今秋、AIラボやロボット活用センターを新設し、グループ全体で一層の原価低減と生産性の向上を進めています。

「新規事業の創出」については、社内外との連携を強化しています。社内での取り組みとしては、重点市場の一つである「医療・ヘルスケア市場」に対してグループのリソースを活用し、より高度な医療向け新製品の研究開発を一手に担う「メディカル開発センター」を新設しました。

【プロフィール】

昭和57年入社
ファインセラミック事業本部
鹿児島川内工場 技術部門配属
平成26年ファインセラミック事業本部長
平成27年執行役員を経て
平成28年4月執行役員常務、同年6月取締役就任
平成29年4月代表取締役社長兼執行役員社長

出身:長崎県

趣味: 読書、ウォーキング

座右の銘: 「謙虚にしておごらず、さらに努力を」

また、M&Aや社外との業務提携等、外部リソースの活用も積極的に進めています。当中間期には、空圧工具メーカーのパイオニアである米国のSENCO Holdings, Inc.の子会社化や、リョービ株式会社様の電動工具事業の取得を決定するなど、M&Aの活用により機械工具事業の拡大を進めました。

これらの取り組みにより、当期の業績予想を達成し、第67期(2021年3月期)には売上高2兆円を目指したいと考えています。

Q 当中間期の業績について教えてください

A 増収増益
中間期として過去最高の売上を更新しました

当中間期の業績は、好調な事業環境を背景に前年中間期に比べ増収増益となりました。情報通信、自動車関連及び産業機械市場向けの部品需要が堅調に推移したことにより、「産業・自動車用部品」や「電子デバイス」の売上が大幅に増加しました。また、新製品の投入及び積極的な拡販活動により「ドキュメントソリューション」の売上も拡大したことから、売上は中間期として過去最高を更新しました。

利益については、増収及び原価低減の効果に加え、生産性向上に努めた結果、前年中間期に比べ大幅に増加しました。

Q 当下半期はどのようなことに
取り組んでいきますか

A 好調な需要に対応するため
生産能力の拡大を図ります

当下半期も産業機械や自動車関連市場では旺盛な需要が見込まれます。当社はこれらの事業機会を着実に捉えるため、鹿児島国分工場の増設に着工するなど、積極的に増産投資を進めています。来期以降の成長に向けた取り組みも既に開始しています。

Q 株主還元について教えてください

A 当中間期の配当金は前年中間期から
10円増配の60円とさせていただきます

当社は、連結業績の「当社株主に帰属する当期純利益」を目安とすることを原則とし、連結配当性向を40%程度の水準で維持することを配当方針としています。当中間期の配当金については、この配当方針及び当中間期の業績、並びに通期見通しを踏まえ、1株当たり60円とさせていただきます。当社は、今後も株主の皆様のご期待に応えられるよう、利益の増大に努め、配当の充実を図ります。

中期的な増産対応に向けて、鹿児島国分工場に新工場の建設開始

当社は生産能力の増強及び将来の事業拡大に向けて、鹿児島国分工場での新工場の建設を開始しました。

現在、需要が旺盛な半導体製造装置用等のファインセラミック部品においては、同工場の活用により、生産能力を従来の2倍に拡大する計画です。

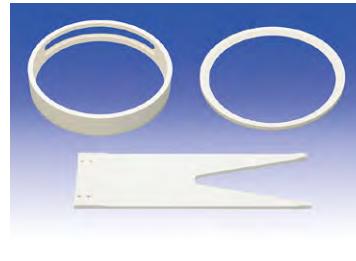
また、同工場は将来の設備増設を見据えたスペースを確保しており、当社は更なる事業拡大に向けて、積極的に投資を進めていきます。

京セラ(株) 鹿児島国分工場 第4-1工場



完成予想図

建設着工：平成29年11月
稼働開始：平成30年10月(予定)
生産品目：半導体製造装置用ファインセラミック部品等
投資額：約56億円(予定)



半導体製造装置用部品

ドキュメントソリューション事業で完全自動化を実現した新工場を国内外に建設

ドキュメントソリューション事業では、好調な需要への対応と更なる収益拡大に向けて、完全自動化ラインを実現した最先端工場の建設を国内外で進めています。国内では新工場にてトナーコンテナの生産を開始しており、中国ではプリンター及び複合機の主要部品であるOPC※感光体ドラムの新工場の建設を開始しました。両工場では完全自動化ラインの導入に加え、IoTにより品質やラインの稼働状況等、様々な情報の管理や活用を進め、生産性の向上とコスト競争力の強化を図ります。

※OPC：Organic Photo Conductor (有機感光体)

京セラドキュメントソリューションズ(株) 三重玉城工場 第7工場



第7工場

稼働開始：平成29年6月
生産品目：カラートナーコンテナ
投資額：約13億円



カラートナーコンテナ

京セラ弁公設備科技(東莞)有限公司 OPC感光体ドラム第2工場



完成予想図

稼働開始：平成30年5月下旬(予定)
生産品目：OPC感光体ドラム
投資額：約25億円(予定)



OPC感光体ドラム

自動車市場での事業拡大に向けて

米国子会社AVXによる
自動車センサー事業の買収

米国の子会社AVX Corporation (以下、AVX)は、英国の電子部品メーカー TT Electronics Plc様より、輸送及びセンシングコントロール事業を買収しました。

これにより、AVXの自動車市場向け年間売上高は現在の2倍の約6億ドル(約680億円*)に拡大します。

今後、一層のシナジー追求により、成長が見込まれる自動車市場での更なる売上拡大を図ります。

*平成29年9月末時点の為替レート 1米ドル=113円で換算

各種センサー、コントロールモジュールで自動車の安全性と快適性の向上をサポート



| 買収概要 | |
|-------|---|
| グループ化 | 平成29年10月 |
| 事業内容 | 各種センサー、LEDモジュール、コントロールモジュール等の開発、製造、販売 |
| 目的 | <ul style="list-style-type: none"> 温度、ポジション、スピード計測のセンサー等の製品ラインアップの拡充 欧州、米州、アジア地域での自動車市場での売上拡大 |

グローバルな総合工具メーカーを目指して

切削工具から空圧・電動工具まで
事業領域を拡大

KYOCERA

切削工具



SENCO

空圧工具



KYOCERA SENCO Industrial Tools, Inc.*1

RYOBI

電動工具



リョービ株式会社の電動工具事業における製造及び販売*2

自動車関連市場

建築市場

一般産業市場

当社は機械工具事業の更なる売上拡大に向けて、M&Aを活用し、製品ラインアップの拡充やグローバルな製造拠点の構築・販売網の獲得を進めています。

当中間期には米国の空圧工具メーカーを取得したことに加え、10月にはリョービ株式会社様の電動工具事業の取得に関する株式譲渡契約を締結しました。

これらのM&Aにより、総合工具メーカーとして自動車関連市場に加え、建築市場や一般産業市場向けの事業拡大を図ります。

*1: 空圧・電動工具関連製品の製造販売を行う米国子会社(平成29年8月連結子会社化)

*2: 平成30年1月連結予定

通信機器技術を活かし、スマートフォンからIoT関連機器まで幅広く展開

京セラの通信機器技術が皆様の生活をサポートします。

“TORQUE® (トルク) シリーズ”は米国国防総省が定める耐久試験に準拠した高い耐久性を誇るモデルです。

タフネス
ケータイ



TORQUE® X01

耐海水性能を
備えたスマートフォン



TORQUE® G03

あらゆるものをインターネットでつなぐIoT。当社は、拡がりをみせるIoT向け無線ネットワークLPWA※に対応した小型“IoTユニット”の製品化を実現。農業・製造業から物流やセキュリティまで、様々な分野での活躍が期待されています。

当社の通信技術とセラミック技術の組み合わせによる
手のひらに収まる小型オールインワンユニット



※Low Power Wide Areaの略、IoTに適した省電力広域無線の総称

8種類のデータを測定可能



電力の自家消費をサポートする、エネルギー関連製品を発売

京セラはAIを活用し、より効率的なエネルギー利用をサポートします。

AI搭載HEMS※1
「ナビフィット®」

- 天気予測や電力消費実績から、翌日の消費量や発電量を予測し、機器を自動制御
- ライフスタイルに合わせてモード選択が可能
- 外出先からの見える化や、機器の遠隔操作※2が可能



※1 ホーム・エネルギー・マネジメント・システムの略

※2 ナビフィット・リモコンアプリ対応の機器が対象

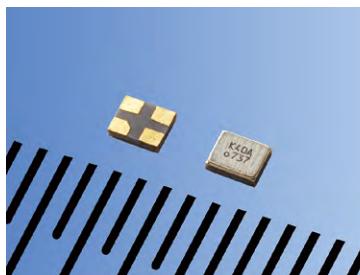
※3 平成29年7月末現在、京セラ調べ

■ 水晶振動子の開発で「第42回 井上春成賞」を受賞

当社は、平成29年6月に「第42回井上春成賞」を受賞しました。

「井上春成賞」とは、大学等の研究成果をもとに企業が開発し、科学技術の進展、経済の発展、福祉の向上に寄与・貢献した技術について研究者及び企業を表彰するものです。

今回は、大阪大学の山村和也教授らのプラズマ技術と、当社の圧電解析技術を組み合わせた超小型水晶振動子の製品化に対して同賞が贈られました。



超小型水晶振動子「CX1008」
(1目盛=0.5mm)



日本工業倶楽部会館(東京)で行われた表彰式の様子
(左:社長 谷本秀夫、右:大阪大学 山村和也教授)

京セラホームページ、Facebookで最新の情報を発信中!

当社では、ホームページやFacebookを通して、グループの事業内容、各種製品、社会貢献活動等の最新情報を発信しています。



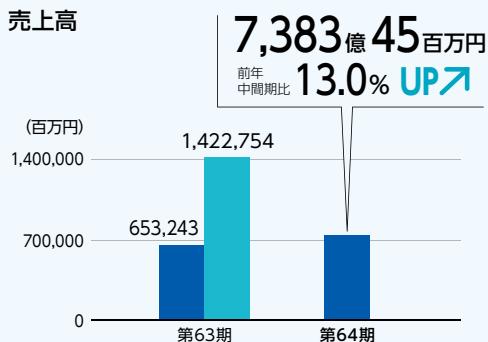
京セラホームページ
<http://www.kyocera.co.jp/>



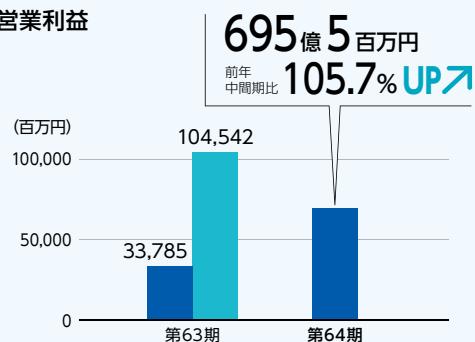
京セラ公式Facebookページ
<https://www.facebook.com/kyocera.jp/>

連結業績の推移 ■ 中間期 ■ 通期

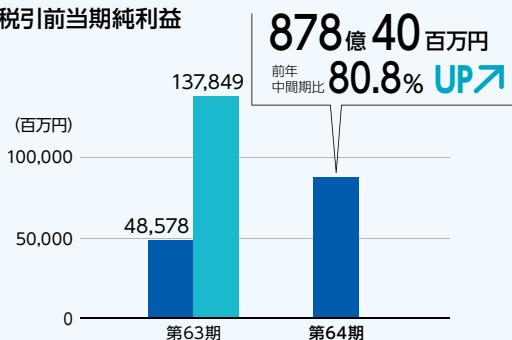
売上高



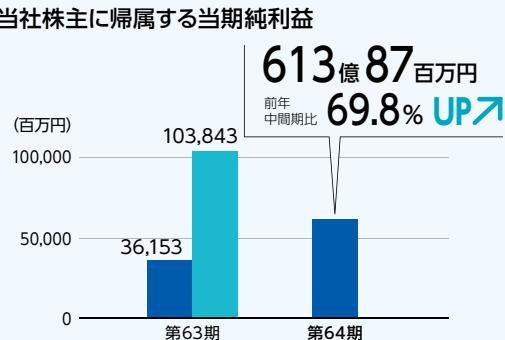
営業利益



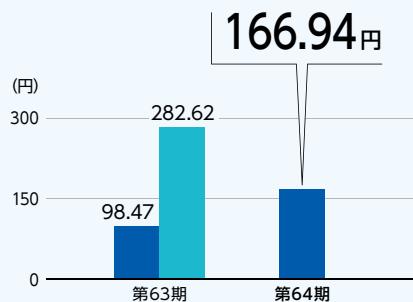
税引前当期純利益



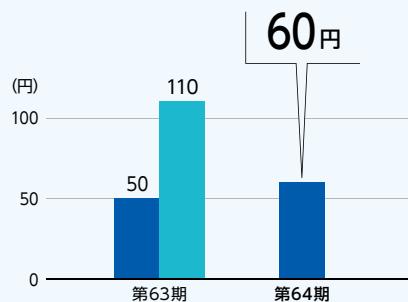
当社株主に帰属する当期純利益



1株当たり当期純利益



1株当たり配当金



事業セグメント別の状況

当期より事業セグメント区分を変更しています。

産業・自動車用部品

ファインセラミック部品、自動車部品、液晶ディスプレイ、切削工具、光学レンズ等、幅広い産業の発展を支える様々な部品を供給しています。

売上高 1,310億10百万円 (前年中間期比 21.6%増)

事業利益 147億52百万円 (前年中間期比130.7%増)



半導体製造装置用部品



切削工具

半導体関連部品

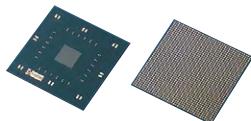
電子部品やICを保護するパッケージ、それらを電子機器に実装するための高密度な多層プリント配線板を供給しています。

売上高 1,268億81百万円 (前年中間期比 8.2%増)

事業利益 179億37百万円 (前年中間期比83.7%増)



光通信用セラミックパッケージ



フリップチップパッケージ

電子デバイス

スマートフォン等の身近な製品から産業機器まで、幅広い分野に様々な電子部品やデバイスを供給しています。

売上高 1,372億53百万円 (前年中間期比20.2%増)

事業利益 218億80百万円 (前年中間期比67.9%増)



各種電子部品



インクジェットプリントヘッド

コミュニケーション

高耐久スマートフォンから、使いやすさを追求した「かんたんケータイ」まで多様なニーズに対応した端末に加え、通信基盤を支える情報通信サービス等を提供しています。

売上高 1,239億37百万円 (前年中間期比8.7%増)

事業利益 22億30百万円 (前年中間期比70億60百万円改善)



スマートフォン・携帯電話



情報通信サービス

ドキュメントソリューション

経済性と環境性に優れたプリンターと複合機の幅広いラインアップに加え、お客様が抱える課題を個々に解決するソリューションを提供しています。

売上高 1,720億20百万円 (前年中間期比16.7%増)

事業利益 200億90百万円 (前年中間期比56.1%増)



プリンター



複合機

生活・環境

ソーラーエネルギー関連製品や医療用製品、宝飾品、キッチングッズ等、生活・環境に関わる製品を供給しています。

売上高 528億13百万円 (前年中間期比 14.6%減)

事業利益 △3億73百万円 (前年中間期比3億67百万円改善)



千葉・山倉水上メガソーラー発電所
(平成30年3月稼働開始予定)



キッチングッズ

連結貸借対照表

(単位:百万円)

| 科目 | 前期 | 当中間期 | 科目 | 前期 | 当中間期 |
|--------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| | 平成29年3月31日現在 | 平成29年9月30日現在 | | 平成29年3月31日現在 | 平成29年9月30日現在 |
| (資産の部) | | | (負債の部) | | |
| 流動資産 | 1,438,697 | 1,471,351 | 流動負債 | 364,661 | 379,633 |
| 現金及び現金等価物 | 376,195 | 392,659 | 短期債務 | 191 | 142 |
| 一年以内償還予定負債証券 | 84,703 | 69,025 | 一年以内返済予定長期債務 | 8,235 | 8,789 |
| その他短期投資 | 212,668 | 205,898 | 支払手形及び買掛金 | 129,460 | 140,295 |
| 受取手形 | 28,370 | 22,840 | 設備支払手形及び未払金 | 60,881 | 59,247 |
| 売掛金 | 291,485 | 300,544 | 未払賃金及び賞与 | 62,868 | 66,325 |
| 貸倒引当金及び 返品損失引当金 | △5,593 | △5,258 | 未払法人税等 | 15,707 | 14,537 |
| たな卸資産 | 331,155 | 357,237 | 未払費用 | 51,062 | 53,376 |
| その他流動資産 | 119,714 | 128,406 | その他流動負債 | 36,257 | 36,922 |
| 固定資産 | 1,671,773 | 1,731,645 | 固定負債 | 326,900 | 328,224 |
| 投資及び長期貸付金 | 1,153,002 | 1,171,244 | 長期債務 | 16,409 | 17,953 |
| 負債証券及び持分証券 | 1,130,756 | 1,146,260 | 未払退職給付及び年金費用 | 31,720 | 32,630 |
| その他長期投資 | 22,246 | 24,984 | 繰延税金負債 | 258,859 | 257,381 |
| 有形固定資産 | 266,604 | 276,449 | その他固定負債 | 19,912 | 20,260 |
| 土地 | 59,963 | 60,048 | 負債合計 | 691,561 | 707,857 |
| 建物 | 351,431 | 356,622 | (純資産の部) | | |
| 機械器具 | 841,973 | 855,766 | 株主資本 | 2,334,219 | 2,406,432 |
| 建設仮勘定 | 14,097 | 16,880 | 資本金 | 115,703 | 115,703 |
| 減価償却累計額 | △1,000,860 | △1,012,867 | 資本剰余金 | 165,230 | 164,969 |
| 営業権 | 110,470 | 141,130 | 利益剰余金 | 1,638,116 | 1,677,440 |
| 無形固定資産 | 61,235 | 65,976 | 累積その他の包括利益 | 447,479 | 480,648 |
| その他資産 | 80,462 | 76,846 | 自己株式 | △32,309 | △32,328 |
| 資産合計 | 3,110,470 | 3,202,996 | 非支配持分 | 84,690 | 88,707 |
| | | | 純資産合計 | 2,418,909 | 2,495,139 |
| | | | 負債及び純資産合計 | 3,110,470 | 3,202,996 |

連結損益計算書

(単位:百万円)

| 科目 | 前年中間期 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) | 当中間期 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) |
|----------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|
| 純売上高 | 653,243 | 738,345 |
| 売上原価 | 488,049 | 533,191 |
| 売上総利益 | 165,194 | 205,154 |
| 販売費及び一般管理費 | 131,409 | 135,649 |
| 営業利益 | 33,785 | 69,505 |
| その他収益・費用(△) | | |
| 受取利息・配当金 | 15,903 | 20,831 |
| 支払利息 | △1,385 | △656 |
| 為替換算差損益 | △238 | 150 |
| 有価証券売却損益 | 103 | 389 |
| その他—純額 | 410 | △2,379 |
| その他収益・費用計 | 14,793 | 18,335 |
| 税引前中間純利益 | 48,578 | 87,840 |
| 法人税等 | 10,302 | 23,043 |
| 中間純利益 | 38,276 | 64,797 |
| 非支配持分帰属損益 | △2,123 | △3,410 |
| 当社株主に帰属する 中間純利益 | 36,153 | 61,387 |
| 1株当たり情報 | | |
| 当社株主に帰属する 中間純利益 | | |
| — 基本的 | 98円47銭 | 166円94銭 |
| — 希薄化後 | 98円47銭 | 166円94銭 |
| 期中平均株式数 | | |
| — 基本的 | 367,143千株 | 367,711千株 |
| — 希薄化後 | 367,143千株 | 367,711千株 |

連結キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

| 科目 | 前年中間期 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) | 当中間期 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) |
|------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|
| 営業活動による キャッシュ・フロー | 73,034 | 91,093 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | △82,684 | △51,297 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | △27,853 | △28,550 |
| 現金及び現金等価物に 係る換算差額 | △18,747 | 5,218 |
| 現金及び現金等価物の 増加(△減少)額 | △56,250 | 16,464 |
| 現金及び現金等価物の 期首残高 | 374,020 | 376,195 |
| 現金及び現金等価物の 期末残高 | 317,770 | 392,659 |

社 名 京セラ株式会社
 英文社名 KYOCERA Corporation
 本社所在地 京都市伏見区竹田鳥羽殿町6番地
 設 立 昭和34年(1959年)4月1日
 従業員数 連結70,874名 単独18,233名
 発行済株式総数 377,618,580株
 (うち自己株式数 9,909,072株)
 株 主 数 51,142名

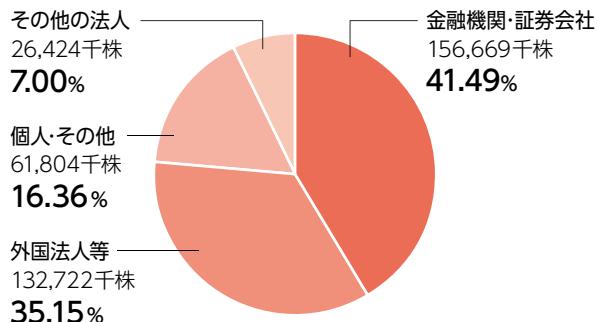
大株主 (上位10名)

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|---|---------|---------|
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 45,933 | 12.49 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 25,302 | 6.88 |
| STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY | 16,079 | 4.37 |
| 株式会社京都銀行 | 14,436 | 3.93 |
| 稲盛 和夫 | 11,212 | 3.05 |
| 公益財団法人稲盛財団 | 9,360 | 2.55 |
| ケイアイ興産株式会社 | 7,099 | 1.93 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5) | 6,198 | 1.69 |
| 京セラ自社株投資会 | 5,602 | 1.52 |
| STATE STREET BANK WEST CLIENT-TREATY 505234 | 5,448 | 1.48 |

注1) 持株数は千株未満を四捨五入して表示しています。

注2) 持株比率は自己株式を控除して計算しています。

所有者別株式分布状況



取締役及び監査役

| | | | |
|---------|---------|---------|------------|
| 代表取締役会長 | 山口 悟 郎 | 取 締 役 | ジョン・サービス |
| 代表取締役社長 | 谷 本 秀 夫 | 取 締 役 | ロバート・ウイスラー |
| 取 締 役 | 石 井 健 | 取締役(社外) | 小野寺 正 |
| 取 締 役 | 触 浩 | 取締役(社外) | 溝 端 浩 人 |
| 取 締 役 | 伊 達 洋 司 | 取締役(社外) | 青 山 敦 |
| 取 締 役 | 巖 島 圭 司 | 常勤監査役 | 原 田 斉 |
| 取 締 役 | 伊 奈 憲 彦 | 監 査 役 | 西 枝 攻 |
| 取 締 役 | 嘉 野 浩 市 | 監査役(社外) | 坂 田 均 |
| 取 締 役 | 青 木 昭 一 | 監査役(社外) | 秋 山 正 明 |
| 取 締 役 | 佐 藤 隆 | | |

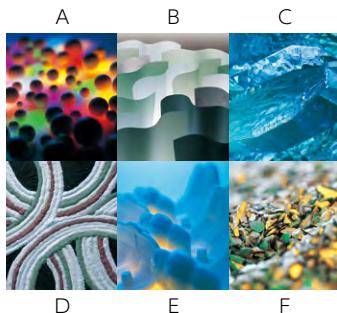
執行役員

| | | | |
|--------|---------|------|---------|
| 執行役員社長 | 谷 本 秀 夫 | 執行役員 | 伊 藤 雅 章 |
| 執行役員専務 | 石 井 健 | 執行役員 | 後 藤 雄 次 |
| 執行役員専務 | 触 浩 | 執行役員 | 工 藤 宏 哉 |
| 執行役員専務 | 伊 達 洋 司 | 執行役員 | 飯 田 真 幸 |
| 執行役員常務 | 巖 島 圭 司 | 執行役員 | 酒 井 久 満 |
| 執行役員常務 | 伊 奈 憲 彦 | 執行役員 | 窪 田 明 仁 |
| 執行役員常務 | 嘉 野 浩 市 | 執行役員 | 水 上 友 介 |
| 執行役員常務 | 青 木 昭 一 | 執行役員 | 濱 野 太 洋 |
| 執行役員常務 | 佐 藤 隆 | 執行役員 | 小 澤 雅 明 |
| 執行役員上席 | 神 野 純 一 | 執行役員 | 黒 瀬 善 仁 |
| 執行役員上席 | 小 山 繁 | 執行役員 | 林 正 樹 |
| 執行役員上席 | 奥ノ蘭 隆 志 | 執行役員 | 木 里 重 亮 |
| 執行役員上席 | 稲 垣 正 祥 | | |

| | |
|------------------------|--|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 株主確定の基準日 | 定時株主総会、期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 |
| 定時株主総会 | 6月 |
| 公告方法 | 電子公告とし、当社ホームページ(http://www.kyocera.co.jp)に掲載いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、 日本経済新聞に掲載いたします。 |
| 上場証券取引所 | 東京、ニューヨーク |
| 単元株式数 | 100株 |
| 株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 郵便物送付先 | 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 |
| 各種お問い合わせ先 | 電話番号 0120-094-777 (通話料無料) 〔 受付時間 9:00~17:00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く) 〕 ホームページ http://www.tr.mufg.jp/daikou/ |

株式に関するお手続きについて

1. 「住所変更」、「買取・買増請求」、「配当金の受取方法の指定」等の各種お手続きにつきましては、原則として、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)でのお手続きが必要ですので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
2. 「郵便物の発送と返戻に関するご照会」、「未受領の配当金に関するご照会」及び「特別口座に記録された株式に関する各種お手続き」につきましては、上記の三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取次ぎいたします。



表紙の写真は、京セラの製品や原料を撮影したものです。

- A … アルミナセラミックスのボール
- B … セラミックスをシート状に加工したテープ
- C … 人工水晶
- D … ファインセラミックスの原料
- E … 人工膝関節
- F … 太陽電池のシリコン原料



京セラ株式会社

京都市伏見区竹田鳥羽殿町6番地 〒612-8501

電話: 075-604-3500 (大代表)

<http://www.kyocera.co.jp>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

当報告書に記載の情報は平成29年12月時点のものです。当報告書については、無断で複製、転載することを禁じます。

© 2017 KYOCERA Corporation